

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	理念に挙げてある地域交流の実践のため、積極的な地域への発信や行動が必要である。	地域の方々へグループホームウエルネスがどんな所か知ってもらう。	公民館へパンフレットの配置を依頼する。 グループホームウエルネスより半径150mにあいさつ周り、パンフレットの配布を行う。	4ヶ月
2	4	地域との交流や実践に向けて、運営推進会議を活用した発信が出来る事が望まれるので委員会構成の中に多くの地域住民の参加が必要である。	地域の方々へより多く運営推進会議へ参加して頂く。	公民館長へ消防団員、民政委員の方々を紹介して頂き、運営推進会議の案内を行う。	5ヶ月
3	35	ホームは2階建てであるも、災害時の避難誘導等、地域住民の協力を得たり、日頃から地域への呼びかけや連携を積極的に取る必要がある。	地域の方々へ火災、避難訓練の参加、見学をして頂く。	火災、避難訓練の計画書、案内文を回覧板に入れてもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。